

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象児童数	広島県（公立）	全国（公立）
		487		20,004	

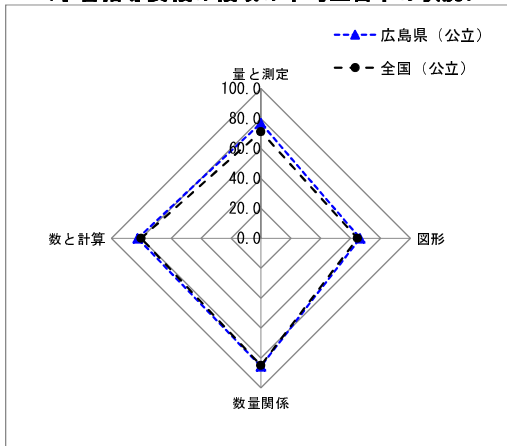
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）	
			広島県（公立）	全国（公立）
	全体	16	77.7	75.2
学習指導要領の領域	数と計算	7	82.3	80.1
	量と測定	3	76.9	71.3
	図形	4	66.4	64.5
	数量関係	2	85.5	84.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	0		
	数量や図形についての技能	7	80.0	77.2
	数量や図形についての知識・理解	9	75.9	73.6
問題形式	選択式	5	73.7	70.5
	短答式	11	79.6	77.3
	記述式	0		

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
1 (1)	8.9 - 0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ	小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	4A (2)アウ								○	○	
1 (2)	5.21 + 0.7は0.01が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組み合わせを書く	単位となる小数の幾つ分で、小数の大きさを表すことができる	4A (2)ア 4A (5)アイ								○		○
1 (3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	加法における計算の確かめの方法を理解している	2A (2)ウ 3A (2)ウ 4A (5)イ								○		○
2 (1)	28 + 72を計算する	繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることができる	2A (2)ア								○		○
2 (2)	6.79 - 0.8を計算する	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる	4A (5)イ								○		○
2 (3)	5/9 - 1/4を計算する	異分母の分数の減法の計算をすることができる	5A (4)オ								○		○
2 (4)	5/6 ÷ 7を計算する	除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる	5A (4)カ								○		○
3	午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	3B (3)イ								○		○
4 (1)	90°、180°、270°、360°を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ	180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることができる	4B (2)アイ								○	○	
4 (2)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B (2)アイ								○		○
5 (1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ	示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができる	3C (1)アウ								○	○	
5 (2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる	3C (1)アイウ 5C (1)ウ								○		○
6 (1)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く	示された見取図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることができる	2C (1)ウ 4C (2)ア 5C (1)イ								○		○
6 (2)	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解している	2C (1)ウ 4C (2)ア								○	○	
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ	グラフに表されている事柄を読み取ることができる	3D (3)ア 5D (4)								○	○	
8	○を並べた図を基に式を読み、数に対応する○を黒く塗る	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができる	3D (2)ア 4D (2)ア								○		○

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町							
教科全体	75.2	77.7	76.4	77.2	78.7	80.4	76.7	82.0	77.8	81.3	83.7	83.7	81.0	82.2	86.5	76.3	72.8	79.8	78.4	76.6	79.3	78.5	81.9	77.5	77.9
1 (1)	71.0	75.7	74.5	73.5	76.7	83.8	73.7	80.6	72.1	85.2	83.8	87.2	77.5	81.1	76.3	78.3	81.0	78.4	79.0	72.8	77.5	83.3	89.1	74.9	78.6
1 (2)	74.3	75.0	74.7	74.0	76.5	75.9	73.2	79.2	75.2	74.6	79.9	74.4	79.9	77.9	86.8	75.8	57.1	80.2	76.9	69.0	75.7	65.7	76.1	73.8	75.4
1 (3)	82.0	84.1	85.6	82.4	82.3	83.3	80.8	87.4	80.0	83.1	88.5	82.6	85.2	88.5	92.1	85.0	90.5	89.2	78.9	81.2	85.9	78.7	84.8	82.7	78.3
2 (1)	98.2	98.3	98.4	98.2	99.1	98.6	98.1	98.7	97.6	97.9	98.8	98.4	99.5	98.4	97.4	97.9	100.0	99.4	98.1	97.3	98.2	100.0	100.0	98.3	98.6
2 (2)	69.5	74.0	72.1	72.7	77.7	84.3	68.5	79.6	71.4	81.7	76.6	81.4	75.1	82.0	84.2	72.9	83.3	81.4	79.8	70.8	73.6	78.7	82.6	74.1	78.3
2 (3)	81.4	82.7	81.9	82.7	82.3	77.3	84.5	84.9	83.7	86.6	87.3	91.9	82.8	73.8	86.8	81.7	73.8	86.8	82.8	82.8	84.4	79.6	89.1	84.4	83.7
2 (4)	84.2	86.3	81.0	89.2	89.7	91.2	91.1	90.9	90.6	93.0	94.0	95.0	92.8	95.9	94.7	82.9	85.7	90.4	92.0	89.8	91.6	92.6	93.5	92.0	88.4
3	74.8	74.2	74.0	72.4	76.9	74.1	72.3	77.3	74.9	70.4	81.3	79.5	72.2	82.0	78.9	67.1	52.4	68.3	75.9	73.9	73.0	70.4	56.5	69.4	73.2
4 (1)	81.3	87.0	85.8	86.0	87.8	86.6	85.9	89.3	90.0	90.1	91.0	95.0	91.9	91.0	94.7	90.4	81.0	89.8	89.2	84.7	87.7	94.4	97.8	88.8	90.2
4 (2)	58.0	69.4	65.7	69.0	72.7	76.4	67.6	75.6	69.3	78.2	78.0	85.3	82.3	68.0	86.8	72.1	59.5	67.1	73.5	70.2	77.5	77.8	80.4	71.1	73.9
5 (1)	50.6	53.8	53.5	54.4	51.3	56.9	48.4	60.8	50.6	55.6	61.2	57.4	62.2	50.8	65.8	44.2	54.8	54.5	49.3	52.7	51.4	50.0	56.5	53.8	45.7
5 (2)	64.5	65.5	63.3	66.2	64.7	65.7	60.6	72.5	68.5	69.7	76.8	77.9	73.2	88.5	89.5	57.1	45.2	56.9	63.8	66.1	67.6	66.7	67.4	59.9	58.0
6 (1)	75.4	76.5	75.3	74.8	76.5	79.2	80.3	82.1	75.7	80.3	83.6	80.2	78.9	86.1	84.2	75.0	76.2	81.4	75.3	77.9	76.3	75.0	82.6	76.4	77.2
6 (2)	67.6	69.9	68.7	68.3	69.1	74.5	69.0	76.8	72.3	72.5	77.0	76.7	70.8	74.6	78.9	65.4	66.7	72.5	68.0	69.1	74.8	75.0	84.8	68.1	71.7
7	81.8	81.9	80.8	82.2	83.1	82.4	83.1	84.2	83.9	88.7	88.9	83.3	80.9	88.5	89.5	84.2	73.8	83.2	81.1	78.6	81.7	75.9	71.7	82.1	83.3
8	88.1	89.2	86.8	89.6	92.6	95.8	90.1	92.3	89.9	93.7	92.8	93.8	90.9	88.5	97.4	90.4	83.3	96.4	90.6	89.1	91.9	92.6	97.8	89.9	92.0

・以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象児童数	広島県（公立）	全国（公立）
	487	20,001		24,481	1,061,063

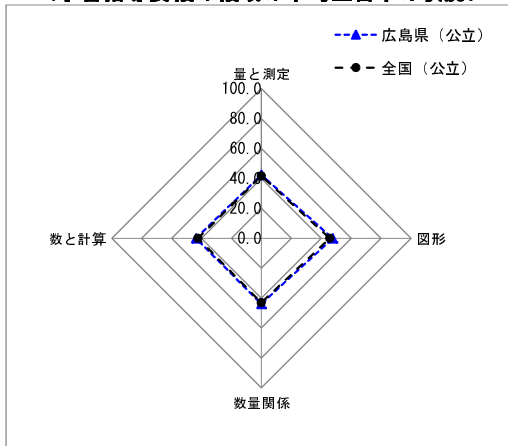
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）	
			広島県（公立）	全国（公立）
全体		13	46.7	45.0
学習指導要領の領域	数と計算	4	43.7	42.4
	量と測定	3	42.4	41.7
	図形	7	47.6	45.6
	数量関係	3	43.9	43.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	9	37.0	35.3
	数量や図形についての技能	2	60.6	58.7
	数量や図形についての知識・理解	2	76.2	74.9
問題形式	選択式	3	71.6	70.6
	短答式	5	43.2	42.2
	記述式	5	35.2	32.5

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
1 (1)	平行四辺形を構成することができる。四つの辺の組み合わせを選ぶ	平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解している			4C (1)イ					○	○		
1 (2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解している			4C (1)アイ					○	○		
1 (3)	二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く	示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる			4C (1)アイ		○					○	
2 (1)	トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く	単位置当たりの大きさをを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができる		5B (4)ア	4D (2)ア			○				○	
2 (2)	20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く	示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができる			5D (3)		○					○	
2 (3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述できる			5D (3)		○					○	
3 (1)	周の長さが2.4mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれこの目盛りのところを持てばよいかを書く	正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる	3A (4)ア 5A (1)イ		3C (1)ア		○					○	
3 (2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、∠の角が30°になるわけを書く	正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、∠の角が30°になる理由を記述できる			3C (1)アイ 5C (1)イウ		○					○	
4 (1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる	4A (2)アイ				○					○	
4 (2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる	4A (2)アウ				○				○		
4 (3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述できる	4A (2)アイウ				○					○	
5 (1)	示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる	4B (1)アイ 5B (1)ア	2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ			○					○	
5 (2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができる	4B (1)アイ 5B (1)ア	2C (1)イ 4C (1)イ 5C (1)イ			○					○	

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市	庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町							
教科全体	45.0	46.7	45.7	45.7	48.1	48.5	46.3	50.4	48.6	46.6	54.6	50.2	46.7	52.5	58.5	42.9	47.1	43.8	48.9	44.7	46.1	45.2	51.8	44.2	47.3
1 (1)	95.2	96.1	96.1	95.2	95.9	97.2	99.1	97.2	96.5	96.5	97.9	96.9	96.7	97.4	95.8	92.9	97.0	95.7	94.9	95.8	95.4	97.8	96.6	94.6	
1 (2)	54.6	56.4	56.0	54.7	56.3	62.0	61.5	61.6	58.7	54.2	58.7	56.6	63.6	56.6	76.3	52.9	66.7	57.8	58.9	50.9	52.9	54.6	63.0	52.2	61.2
1 (3)	27.7	33.2	30.9	35.6	32.3	27.8	26.3	38.9	32.0	39.4	38.6	38.4	36.8	41.8	47.4	30.0	40.5	33.1	35.5	32.5	36.6	32.4	41.3	32.8	35.5
2 (1)	64.8	65.2	65.6	63.4	66.1	60.2	64.8	66.4	67.8	67.6	70.2	70.2	65.1	72.1	76.3	60.4	52.4	54.8	65.2	63.8	64.3	63.0	63.0	64.4	59.4
2 (2)	13.1	12.9	13.1	12.5	14.8	14.4	12.7	12.5	19.5	7.0	16.4	12.0	9.6	14.8	13.2	8.8	35.7	7.2	14.9	7.5	10.2	9.3	17.4	8.0	13.8
2 (3)	51.0	53.6	51.4	51.0	59.0	60.6	55.9	60.4	54.6	49.3	66.3	64.0	56.9	65.6	65.8	50.0	57.1	49.4	56.4	50.4	55.3	50.9	67.4	56.8	54.7
3 (1)	32.5	33.2	32.5	32.8	34.0	34.7	32.4	36.9	32.7	31.0	40.9	36.8	28.7	34.4	42.1	30.8	59.5	29.5	34.4	30.2	32.7	32.4	58.7	28.0	35.5
3 (2)	49.1	52.4	49.8	51.9	56.0	59.7	50.7	55.1	55.2	53.5	68.0	62.4	55.0	69.7	73.7	42.9	35.7	46.4	56.0	53.0	56.2	52.8	67.4	49.9	51.8
4 (1)	52.6	56.1	51.8	55.4	59.1	63.0	52.1	66.9	61.6	63.4	73.1	62.4	53.1	65.6	78.9	50.4	59.5	58.4	64.7	53.5	52.9	61.1	67.4	56.8	62.0
4 (2)	62.0	62.4	63.8	59.5	64.3	60.6	64.3	63.4	65.7	57.0	68.8	57.0	59.8	57.4	65.8	55.0	50.0	60.2	63.2	59.7	57.7	57.4	56.5	54.3	59.8
4 (3)	22.3	23.3	23.3	21.3	26.3	21.8	19.7	23.2	25.5	22.5	33.1	23.3	23.9	28.7	42.1	19.6	14.3	21.7	26.2	22.5	18.9	25.0	28.3	17.5	23.9
5 (1)	12.5	13.7	13.3	13.2	13.4	14.8	11.7	17.9	12.7	13.4	15.2	15.5	10.5	18.9	15.8	17.1	9.5	10.2	13.3	13.5	15.6	7.4	6.5	11.8	15.2
5 (2)	47.8	48.5	46.4	48.2	48.2	53.7	50.2	55.1	49.5	50.7	62.2	57.8	47.4	60.7	65.8	44.2	38.1	44.0	50.9	48.2	50.2	46.3	39.1	45.9	47.8